

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

年間テーマ	ドキドキわくわく 何だろう不思議だね
園名	羽根木こども園
歳児・時期	全学年・4月～3月

1・活動のテーマ

＜テーマ・今回のサブテーマ＞

ドキドキわくわく何だろう不思議だね
劇づくり「世界大冒険～みんなで宝を探し出せ～」

＜テーマの設定理由＞

韓国大使館の方との交流を機に世界に関心をもった子ども達。運動会では世界遺産をテーマにした組体操を披露。大きな地球儀で様々な国の位置関係を探ったり、ニュースで聞いた各国の生活や文化・状況などに興味をもって調べたりする活動が続いた。今回はこれまでの活動を活かし発表会の劇づくりに繋がっていた。

2・環境のデザイン

これまでに子ども達が調査・検索してきた内容を張り出し、一つのコーナーを設置してクラス皆で共有してきた。地球儀や筆記具を準備し自由につけた市が出来るようにした。

更に、WEBで他国の園との交流の機会をつくり、異文化との接点を広げた。

発表会への取り組みについて伝えることで劇化することに興味をもち、話し合いが始まりまとまっていった。

3. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

年度当初から「世界」に関心が有り、クラス皆で話題や情報を共有し、活動をしてきた。

発表会に向けた話題が高まる中、子ども達から「世界の話の劇をやりたい」と、意見が出された。他の子ども達にも考えが波及し方向性が決まった。

子ども達の中から取り上げたい国の候補が上がり、話し合いながら国名が決まると共に、国ごとのグループに分かれ話し合いを進めていった。

各国の特徴（料理・動物・挨拶の言葉・服装等）をセリフの中に組み入れたい衣装を作ったりした。

また、背景として特徴のある建物や自然物を描き、劇の背景として準備していった。

更に、1学期ごろから試してきた「音」をテーマにしたすくわく活動を活かし、手作り楽器を使用しての効果音も取り入れ、劇が作りあがっていった。



4. 保育教諭の反省

- ・子ども達の発想や意見が友達と共有できるよう、また各グループの考えを子ども達自身が納得のいく表現にまとめ上げられるよう援助してきた。
結果としてはまとめも表現も満足のいく内容になり、子ども達の達成感や充実感を味わうことができていた。
- ・発表会後の生活や生活や活動にどう繋げていくのか、また繋がるのかの見通しや判断が難しいと感じた。